

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
 コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 光廣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 国丸 洋 TEL 06-6346-5221
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	137,838	28.7	2,978	△55.3	2,619	△60.9	1,464	△61.8
29年3月期第3四半期	107,067	△12.4	6,658	△39.9	6,697	△41.2	3,837	△40.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,333百万円 (4.2%) 29年3月期第3四半期 2,239百万円 (△61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	33.76	—
29年3月期第3四半期	88.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	218,898	147,768	63.8
29年3月期	214,341	146,662	64.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 139,664百万円 29年3月期 138,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 30年3月期期末配当金(予想)の内訳：普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	29.5	3,400	△57.3	3,000	△62.2	2,700	△43.6	62.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細は、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	44,898,730株	29年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,504,619株	29年3月期	1,551,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	43,366,270株	29年3月期3Q	43,311,439株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、北朝鮮情勢など地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要需要先である国内建設用鋼材市場では、建築・土木分野ともに需要は回復傾向にあり製品価格の値上げを進めましたが、原材料である鉄スクラップの価格が、中国鋼材需要の影響を受け一段と上昇したことから、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格の差額）は縮小しました。海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいては活発な経済成長を背景とした鋼材需要が堅調に伸びる中、生産・販売ともに好調に推移しました。米国においても、好調な経済環境下で鋼材需要は堅調でした。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比30,771百万円（28.7%）増収の137,838百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比3,680百万円（55.3%）減益の2,978百万円、連結経常利益は同4,078百万円（60.9%）減益の2,619百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2,373百万円（61.8%）減益の1,464百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門について、需要は回復傾向にあり、製品出荷量は前年同期対比1.7万トン増の126万トンとなりました。製品価格は値上げを進めた結果、前年同期対比トン当たり7.2千円（14.5%）上昇しましたが、鉄スクラップ価格は同8.7千円（39.9%）上昇したため、売買価格差は1.5千円（5.3%）縮小しました。さらに、エネルギー費や合金鉄・電極など副資材の価格が上昇したことにより、製造コストは増加しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比10,621百万円（15.6%）増収の78,862百万円、営業利益は同3,568百万円（57.9%）減益の2,595百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナム及び米国にて鉄鋼事業を展開しております。

ベトナムでは、当第3四半期（平成29年1～9月）は、セーフガードや中国鋼材需要の影響により鉄スクラップ価格や半製品価格が高値圏で推移しましたが、7月以降に製品価格の値上げが進み、また販売量も拡大したことから、業績は順調に推移しました。米国では、堅調な鋼材需要の下、拡販、コスト削減などにより利益を計上しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比20,411百万円（60.5%）増収の54,147百万円、営業利益は同138百万円（17.1%）増益の944百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、10月以降は高単価な処理困難物案件の獲得が進みましたが、売上高は前年同期対比274百万円（5.6%）減収の4,599百万円、営業利益は同159百万円（22.2%）減益の560百万円となりました。

④ その他の事業

子会社を通じて土木資材の販売および保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比12百万円（5.5%）増収の230百万円となり、営業利益は同1百万円増益（10.5%）の11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,679百万円（3.2%）増加し、119,729百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が15,062百万円増加し、現金及び預金が12,685百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて878百万円（0.9%）増加し、99,169百万円となりました。これは、投資有価証券が4,084百万円増加し、建物及び構築物が530百万円、機械装置及び運搬具が2,726百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4,557百万円（2.1%）増加し、218,898百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5,735百万円（11.5%）増加し、55,769百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が7,984百万円増加し、短期借入金が1,033百万円、未払法人税等が868百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2,284百万円（12.9%）減少し、15,361百万円となりました。これは、長期借入金が2,748百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,452百万円（5.1%）増加し、71,130百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,105百万円（0.8%）増加し、147,768百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,464百万円、剰余金の配当1,304百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,271百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.6%から、63.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間におきましては、国内鉄鋼事業については、製品の販売数量・価格は計画通りの進捗を見込んでおりますが、鉄スクラップ価格の上昇が予想され、厳しい事業環境が継続する見通しです。加えて、合金鉄や電極など副資材等の価格上昇により製造コストの増加も予想されます。

従いまして、平成30年3月期（通期）の連結業績は前回の想定を下回ることが見込まれるため、平成29年10月31日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を変更いたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,446	26,761
受取手形及び売掛金	35,584	50,646
有価証券	8,400	5,400
商品及び製品	15,573	18,472
原材料及び貯蔵品	13,652	14,501
その他	3,509	4,103
貸倒引当金	△115	△154
流動資産合計	116,050	119,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,167	17,637
機械装置及び運搬具（純額）	37,341	34,616
土地	23,993	24,087
その他（純額）	1,398	1,414
有形固定資産合計	80,900	77,753
無形固定資産	1,989	2,204
投資その他の資産		
投資有価証券	11,116	15,200
その他	4,349	4,076
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	15,401	19,212
固定資産合計	98,291	99,169
資産合計	214,341	218,898

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,967	19,951
短期借入金	24,388	23,356
1年内返済予定の長期借入金	3,041	2,965
未払法人税等	949	82
賞与引当金	701	744
役員賞与引当金	110	52
その他	8,877	8,619
流動負債合計	50,034	55,769
固定負債		
長期借入金	13,427	10,679
繰延税金負債	920	1,522
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	76	86
その他	779	631
固定負債合計	17,644	15,361
負債合計	67,678	71,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	91,730	91,890
自己株式	△1,915	△1,825
株主資本合計	129,823	130,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,952	3,223
繰延ヘッジ損益	40	20
土地再評価差額金	4,618	4,618
為替換算調整勘定	1,930	1,664
退職給付に係る調整累計額	2	64
その他の包括利益累計額合計	8,542	9,590
非支配株主持分	8,298	8,104
純資産合計	146,662	147,768
負債純資産合計	214,341	218,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	107,067	137,838
売上原価	92,127	125,589
売上総利益	14,940	12,248
販売費及び一般管理費	8,282	9,271
営業利益	6,658	2,978
営業外収益		
受取利息	171	220
受取配当金	191	223
持分法による投資利益	135	—
為替差益	11	16
その他	146	213
営業外収益合計	653	671
営業外費用		
支払利息	547	919
持分法による投資損失	—	23
その他	67	88
営業外費用合計	614	1,030
経常利益	6,697	2,619
特別利益		
固定資産除売却益	119	9
関係会社出資金売却益	—	7
特別利益合計	119	16
特別損失		
固定資産除売却損	400	245
事故関連損失	—	150
その他	152	15
特別損失合計	551	410
税金等調整前四半期純利益	6,264	2,225
法人税等	2,119	673
四半期純利益	4,145	1,552
非支配株主に帰属する四半期純利益	309	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,837	1,464

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,145	1,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	746	1,271
繰延ヘッジ損益	△75	△43
為替換算調整勘定	△2,640	△509
退職給付に係る調整額	62	62
その他の包括利益合計	△1,906	782
四半期包括利益	2,239	2,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,308	2,512
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,069	△179

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	68,241	33,736	4,873	106,850	218	-	107,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145	-	993	1,138	-	△1,138	-
計	68,386	33,736	5,866	107,988	218	△1,138	107,067
セグメント利益	6,163	806	719	7,688	10	△1,041	6,658

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益」の調整額△1,041百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,033百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成28年12月21日に連結子会社KYOEI STEEL America LLC（米国デラウェア州）を通じてBD Vinton LLC（米国テキサス州：現 Vinton Steel LLC）の持分の100%を取得し、同社及び同社子会社1社を子会社化しました。これにより、海外鉄鋼事業セグメントにおいてのれんが増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては705百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	78,862	54,147	4,599	137,608	230	-	137,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100	-	749	849	-	△849	-
計	78,962	54,147	5,348	138,457	230	△849	137,838
セグメント利益	2,595	944	560	4,099	11	△1,133	2,978

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益」の調整額△1,133百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,146百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、前連結会計年度に連結子会社米国共英製鋼会社を通じてビントン・スチール社及び同子会社1社の持分を100%取得したことに伴い、暫定的に算定されたのれん375百万円を計上していましたが、第1四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了したことから、705百万円に変動しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第3四半期連結累計期間ののれんの金額の重要な変動は、当該見直し反映後のものを記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、主要取引先の要請により、保有する投資有価証券の一部を平成30年1月31日に売却いたしました。これに伴い、平成30年3月期連結会計年度において、投資有価証券売却益1,913百万円を特別利益に計上いたします。